

令和7年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立西一之江小学校

校長名 五十嵐 一嘉

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	- よく考えずんで学ぶ子 - 思いやりのある子 - ねばり強くたくましい子
---------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1探究的な見方・考え方を働かせ、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究的な学習の良さを理解するようにする。 2地域に根ざした学習を通して、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 3体験的な学習や地域の人々との交流を通して学び方やものの考え方を身に付け、自己の生き方を考えることができるようにする。

育てようとする資質や能力及び態度	
知識・技能	
第3・4学年	第5・6学年
・課題解決のための情報を収集する。 ・収集した情報から必要なものを選択する。	・課題解決のための手段を選択し、必要な情報を収集する。 ・収集した情報を分析し、適切な表現方法を選ぶ。
思考・判断・表現	
第3・4学年	第5・6学年
・問題状況の中から課題を見つける。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。	・課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える。 ・相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、伝達・表現する。
主体的に学習に取り組む態度	
第3・4学年	第5・6学年
・自分の活動についての意思決定をする。 ・自分の生活の在り方を見直し、実践する。	・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。 ・自分の将来を考え、夢や希望をもつ。

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	- 地域の様子 - 情報学習 - 昔の人々の暮らし	小松菜農家を見学し、栽培について学ぶ。 ローマ字入力での情報検索、簡単なプログラミング。 昔の道具について調べる。
第4学年	- ボランティア活動 - 東京都の地域の様子 - 福祉	松江公園の植栽の世話をを行う。 住み続けられるまちづくりの工夫について学ぶ。 福祉について学ぶ。
第5学年	- 日本の伝統文化 - 身近な環境と安全 - 伝統を受け継ぐ - 情報学習	米作りの体験を通して日本の伝統について学ぶ。 地域安全マップを作成する 鼓笛を受け継いでいく。 ウィンタースクールに向けてインターネットで必要な情報を集める。
第6学年	- 地域の行事 - 情報学習 - 国際理解	鼓笛で地域の祭りに参加する。 日光に向けて、インターネットで必要な情報を集める。 卒業に向けて、自ら課題を設定し、情報を集めて解決する。 外国語活動の活用・世界の国調べ・環境問題

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
3年生は地域、4年生は東京都の地域の様子と福祉、5年生は伝統文化、6年生は国際理解と社会参加が主なテーマである。 - 年間を通して俳句作りへの取り組み、研究発表などを行い校内研究や学校いきいき活動プランとの連動を図る。	- 個に応じた指導の工夫。 - 体験活動の重視。 - 協同的な学習活動の充実。 - 他教科との関連や前年度からの継続性の重視。 - 児童の課題意識を持続・発展させるため支援。	- 過去の活動記録の活用や情報収集によるカリキュラムの作成、連絡調整を円滑に行う指導体制を確立する。 - 地域人材や出前授業などの外部の教育力の活用。 - 専科教諭や学校栄養職員にも協力を求め支援体制を作る。	- ポートフォリオを活用した評価の充実。 - 振り返りカードを活用した個人内評価の重視。 - 活動ごとの観点別学習状況を把握するための評価規準の設定。 - 外部評価の活用。